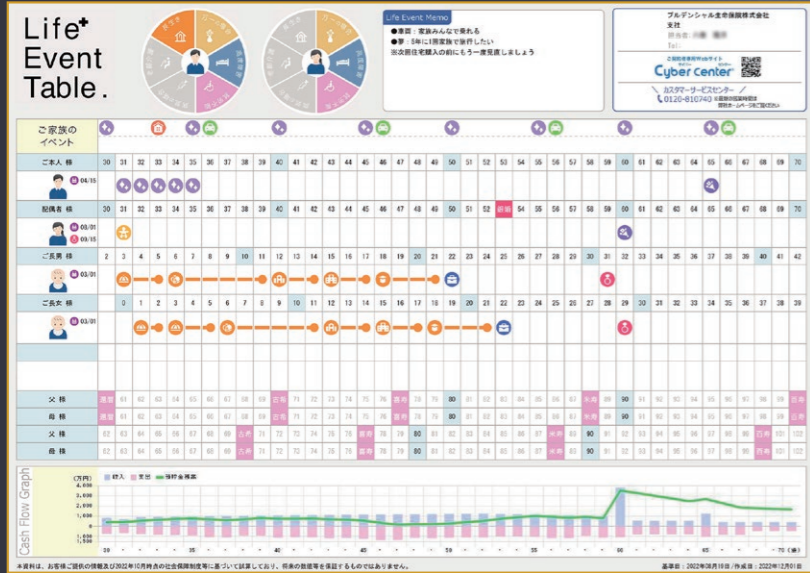


# 人生100年時代を安心して過ごしたい



ブルデンシャル生命保険株式会社  
執行役員  
エグゼクティブ・ライフプランナー

小山 聡章 氏

慶應義塾大学 経済学部 教授  
ブルデンシャル生命保険株式会社  
取締役

坂井 豊貴 氏

フリーキャスター/  
ナレーター/  
司会

榎戸 教子 氏

人生100年時代には不安も多い。その一つが「お金」だ。これからの人生を安心して過ごすため、ブルデンシャル生命保険は、ライフプランナーが使う新たなツールの提供を開始した。これによって、どんな人生設計ができるのか。同社のライフプランナーで、執行役員の小山 聡章氏、同社社外取締役も務める経済学者の坂井 豊貴氏に、キャスターの榎戸 教子氏が聞いた。

”**リスクを可視化し、お金の不安を解消するツールが登場**

多様なライフプランに応じてシミュレーション

榎戸 未来の潜在リスクをより明確に可視化するツールを開発されたと聞いています。

小山 長寿化が進むにつれて、生活費や医療費などのいわゆる「長生きコスト」も増大します。これまでは例えば世帯主が亡くなれば、場合によっては遺族年金がいくら支給され、遺族が一定の生活水準を保つにはどれだけの不足しそうかといった観点から保障を考えることが中心でした。しかしこれからは、もっと視野を広げなければなりません。

そこで当社は、多種多様なリスクシミュレーションを瞬時に実行し、社会保障や公的年金も含めた収支を算定し、必要な保障を明らかにするオリジナルツール「LIPS-J」(Life Insurance Planning Service-Japan)」を開発しました。

榎戸 それによって個々のお客様によりマッチしたきめ細かいコンサルティングを行うわけですね。

坂井 実は私は小山さんからコンサルティングを受けたことがあります。私は生命保険には以前から入っており、子どもが生まれるたびに死亡時の保障額を増やしてきたこともあって、十分な備えをしているつもりでした。しかし「LIPS-J」で出されたシミュレーション結果を見て、その認識が甘かったことに気付かされました。

小山 坂井さんは死亡リスクについてはしっかり考えている半面、病気やけがで高度障害を負って働けなくなることを想定されておられませんでした。そこで「LIPS-J」の機能を使ってシミュレーションを行い、その点を手当てされるようお勧めしました。

榎戸 生活状況は絶えず変化しますから、現時点でベストだと思われる保障内容も、いずれまた見直す必要があるのかもしれないですね。

小山 そのとおりです。「LIPS-J」を用いたシミュレーションやライフプランナーによるコンサルティングは、いわば経済的な健康診断。その時々でリスクを可視化することは、定期的に受ける健康診断と同様に重要なことなのです。

坂井 私も今回コンサルティングを受け、保険は「入って終わり」ではないことを強く感じました。ある時点で最適な保険プランに入っているとしても、人生は事前に組んだ予定で進むわけではないから、途中で調整していくのが大事だと思います。

榎戸 リスクをちゃんと見える化して、それに備える。備えがあるからこそ、前向きに頑張れる。長い人生を送る上で、より大切になってきているのではないかと感じています。

